

は し が き

本資料は、当研究所の平成 19 年度所内プロジェクト研究「中国の食料、農業、農産物貿易等の動向と将来見通しに関する調査研究」の研究成果をとりまとめたものである。

本研究は、内容が多岐にわたることから外部研究者（4 人）にも参加していただき、当研究所の研究員とともに研究会を開催して実施した。研究会の座長は田島俊雄教授（東京大学社会科学研究所）にお願いした。

研究会は、毎回議論すべきテーマを決め、計 4 回開催した。第 1 回研究会のテーマは「中国の食料消費構造」であり、第 2 回研究会は「中国の水資源問題と農業への影響」、第 3 回研究会は「中国農産物貿易の動向とその戦略」、最終回の第 4 回研究会は「中国の食料消費と生産」である。

それぞれのテーマについて、毎回、1～2 人の研究者が研究内容を発表し、その後に研究会参加者によるディスカッションを行った。また、第 3 回研究会のテーマとなった中国農産物貿易の問題については、中国北京から章政教授（北京大学経済学院）をお呼びしてこの問題に関する中国での認識や考え方をうかがった。

本資料に収録した論文は、上述のような経緯のもとに、それぞれの研究者が研究会でのディスカッションの内容も踏まえて作成したものである。

収録論文は内容的に 3 部に分かれる。第 1 部は食料消費に関するものであり、第 1 章「中国の食料消費構造の変化」（河原昌一郎、明石光一郎）および第 2 章「中国の食料消費動向」（銭小平・国際農林水産業研究センター）から成る。第 2 部は水資源と農業生産に関するものであり、第 3 章「中国の農業用水施策」（藤本直也・国際農林水産業研究センター）、第 4 章「中国の水資源の現状とその農業生産への影響」（山下憲博）および第 5 章「戸籍制度撤廃の影響予測」（伊藤純一）から成る。第 3 部は農産物貿易に関するものであり、第 6 章「中国の食糧確保戦略－トウモロコシの需給逼迫等を背景として－」（森路未央・日本貿易振興機構）から成る。

また、上述の章政教授が第 3 回研究会で発表した論文も本人の了解を得て本資料に収録した。

本資料の巻頭言は、研究会の座長を務めていただいた田島俊雄教授からいただいた。

日本と中国との関係はますます広範で深いものとなっている。本資料が関係各位の中国食料農業問題等に対する理解を深める一助となることを願っている次第である。

平成 20 年 3 月

農林水産政策研究所